

保健師がやるべき地域を包括するケアシステムの取組概念図

地域共生社会
全世代型の地域包括ケアに向けて

第2次健康日本21
最上位目標 健康寿命の延伸 健康格差の縮小

地域づくり

地域が力をつけることが健康寿命の延伸につながる

全世代型地域包括ケアシステムの構築

- 保健師は胎児期から最期の時までを意識して生活に介入する 強みは「予防的介入」の視点
保健師が介入すべき「生活」とは、医学に基づいた暮らし・生活の場・生活習慣
- 保健師は個人・家族を中心に、保健・福祉・医療の結び目として機能する
保健師の活動の本質は「見る 見る 診る」「つなぐ」「動かす」

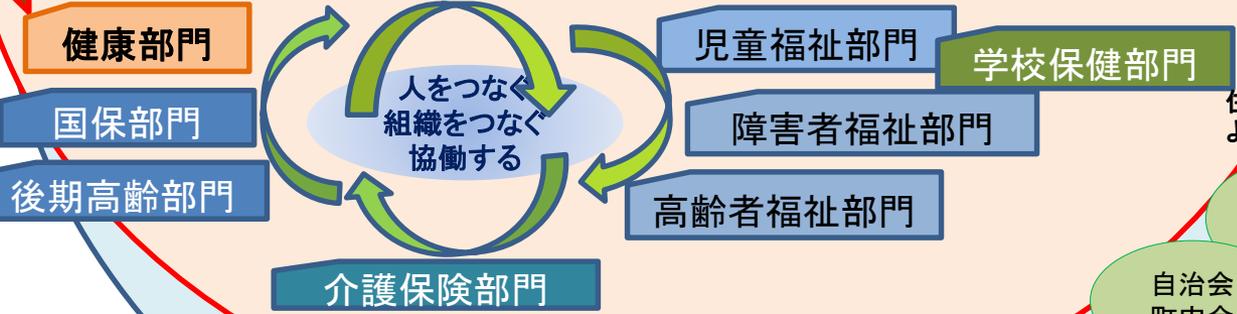
政策・施策

ハイリスクアプローチ
◆重症化予防 ◆疾病予防対策

ポピュレーションアプローチ
◆健康増進施策

ビックデータを活用して、地域診断・課題抽出 保健・医療・介護・データヘルス計画・KDB 他

庁内：部署横断的取組・協働・調整 統括的役割の保健師



部門毎に個別ケア・集団ケアを施策化する役割

保健師は
医療：医療モデル
福祉：生活モデルの共通言語を見出し通訳する役割
保健師の活動が庁内の職員に理解され協働していくことが重要

保健師の行動



個別の課題を地域の課題として提示する
状況や課題を住民に見える化して提供する

住民自ら課題として考えられるように寄り添い協働する

社会資源・地域資源

全国保健師長会
健康日本21推進に関する特別委員会作
【第8回日本公衆衛生看護学会学術集会】